



地域交流 ワーケーション体験ツアー

■実施概要

日時 2025年10月～2026年1月

場所 東京多摩地域・島しょ地域

目的 企業単位で参加する、地域との交流が出来るワーケーション体験ツアー

(行程例)

- ・コワーキング施設等でのテレワーク
- ・地域住民・企業との交流会
- ・地域活動等への参加
- ・地域産業の見学・体験
- ・地域の文化や魅力等を体感できる名所等への訪問

※各ツアーによって内容が異なります。

多摩地域 地域交流ワーケーション体験ツアー

実施自治体：檜原村①②、奥多摩町（全3回）

■檜原村①（11/5水-11/7金）



[ツアー情報を見る](#)

<p>交流した 地域事業者など</p>	<p>■佐藤乃理子氏 株式会社檜原ライフスタイルラボ代表 檜原村で持続可能な新しいライフスタイルを提案する産業医。コワーキングスペース「おいねハウス」とソロキャンプ場でありながら会員同士の交流を生むキャンプ場「OineVillage」を運営 【株式会社檜原ライフスタイルラボ】 2019年11月創業。産業保健支援サービスのほか、檜原村でコワーキングスペース「おいねハウス」とキャンプ場「Oine Village」を運営。「元気の源を創る」をミッションに、自然×健康×働く人の元気づくりを通じ、持続可能な都市と地方の関係づくりを目指しています。</p>
<p>主なコンテンツ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・古民家を改装したコワーキング施設「おいねハウス」にて個人ワーク ・キャンプ場「Oine Village」にてチェアリング&森林リトリート体験 ・檜原村観光協会案内のもと村内散策 →地域資源の活用を推進する「ひのはらファクトリー」 廃校活用の体験型施設「檜原 森のおもちゃ美術館」等 ・手打ちうどん「はたの」にて地域事業者などと交流会 ・ツアー最終日、「おいねハウス」にて参加企業毎にツアーを振り返り。感じたこと等を発表し、地域の方々と意見交換。



■檜原村② (12/10水-12/12金)



[ツアー情報を見る](#)

<p>交流した 地域事業者など</p>	<p>■清田直博氏 一般社団法人アナドロマス代表理事 ライター、エディター、デザインディレクターとしてクリエイティブの現場で経験を積んだ後に檜原村に移住。2022年にコワーキング&関係人口コミュニティ創出の場として「Village Hinohara」の運営を開始。</p>
<p>主なコンテンツ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・雄大な自然の中に建てられた ワークインレジデンス「Village Hinohara」にて個人ワークおよび宿泊 ・爽やかな香りと上品な酸味が魅力の、檜原村の特産品の1つである「ゆず」に触れる体験として、ゆず狩りとゆず仕事ワークショップを実施。 ・檜原村観光協会案内のもと村内散策 →地域資源の活用を推進する「ひのはらファクトリー」 廃校活用の体験型施設「檜原 森のおもちゃ美術館」 等 ・手打ちうどん「はたの」にて地域事業者などと交流会 ・ツアー最終日、「Village Hinohara」にて参加企業毎にツアーを振り返り。檜原村の更なる魅力向上に向けて地域が取り組めること等を発表し、地域の方々と意見交換。



■奥多摩町（12/15月-12/17水）



[ツアー情報を見る](#)

<p>交流した 地域事業者など</p>	<p>■一般財団法人おくたま地域振興財団 自然豊かな奥多摩町の森林を活用した活動及び森林環境の保全などを行い、広く人々の健康維持・増進並びに教育、交流、山村地域の振興に寄与することを目的に設立され、「森林セラピー事業」を中心としたストレス解消や健康増進の場の提供や、奥多摩町の観光PR事業を行い、人々の健康増進及び地域振興事業等展開しています。</p> <p>■一般社団法人奥多摩観光協会 奥多摩町及び周辺地域の自然、景観、文化、歴史、産業などの資源を活用し、観光事業の振興を図ることにより、奥多摩町の魅力を広く発信して国内外の人々との交流を促進し、地域経済の活性化と文化の発展に寄与しています。</p>
<p>主なコンテンツ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・奥多摩の自然に囲まれた“泊まれる学校”という貸切施設「OKUTAMA+」での個人ワークおよび宿泊 ・町内の主要観光スポットや、冬場の観光PRを考えるスポットを周遊 →古生層より湧き出る源泉100%の「もえぎの湯」 年間通じて洞内が11°Cで関東随一の規模を誇る「日原鍾乳洞」 奥多摩の資源や歴史・文化を学べる施設「奥多摩 水と緑のふれあい館」 日本最大級の水道専用貯水池である「奥多摩湖」 奥多摩の大自然を満喫できる「氷川キャンプ場」 ・沿線地域活性化プロジェクトから生まれた宿泊施設「Satologue」の見学や、日本初の森林セラピー専用ロード「香りの道・登計トレイル」ガイドツアーを体験。 ・「OKUTAMA+」にて地域事業者と交流会 ・最終日には、ツアーのミッションである「奥多摩町の冬季観光PR戦略」について企業単位でプレゼンテーションを行い、地域の方々と意見交換。



島しょ地域 地域交流ワークショップ体験ツアー

実施自治体：新島村（2回を1セットとしたツアー）、大島町、三宅村（全4回）

■第1回 新島村（10/27月-10/30木）

第2回 新島村（11/9日-11/12水）



[ツアー情報を見る](#)

交流した
地域事業者など

■ 新島村商工会

新島・式根島の中小事業者に対する様々な支援策や移住支援等を案内する団体。

■ 式根島エリアマネジメント

ワークショップを式根島へ受け入れるための運営組織。

■ 地域おこし協力隊員

観光案内窓口の運営や観光プランの企画など、地域の活性化に貢献しています。

第1回

～主要スポット巡りや地域事業者との交流を経て2島の魅力や課題を知る～

- ・新島村の歴史や文化の資料を展示する新島村博物館や、サーフィンの世界大会が開催された羽伏浦海岸など、**新島の歴史に触れるスポット**を視察
- ・**新島の特産品**である「くさや」の製造見学や**事業者との交流**
- ・式根島の美しい自然を守り、持続可能な地域資源を残す取り組みとして、**ビーチクリーンを体験**
- ・**アイランドワークショップ**を進める式根島において、屋外で利用可能なWi-Fi環境が整備された天然温泉である「松が下雅湯」でワークも可能な足湯を体験
- ・式根島内の飲食店にて、**新島村（新島・式根島）の事業者と、交流会を実施**

主なコンテンツ

第2回

～ツアー最終日の発表を見据え地域を深掘り～

- ・新島を拠点にメディア制作・イベント企画運営等を行っている事業者との交流
- ・1回目では立ち寄っていない**新島内視察**
→国内では新島でしか採れない“コーガ石”を原料にしたガラス製品を制作している「新島ガラスアートセンター」
伊豆諸島最大規模の神社である「十三社神社」
新島北部に位置し、自転車や歩行者は通行禁止であるトンネルを歩いて行く「若郷地区」
大規模改修工事中である「旧新島村温泉ロッジ」 等
- ・式根島観光協会より、“**観光メディア戦略**”と“**四季ごとのプロモーション**”についてお話を伺う
- ・**式根島初のシェアハウス**見学及びオーナーや入居者との交流
- ・式根島開発総合センターにて、地域事業者を集め、**2島1村のプロモーション施策**についてのプレゼンテーションを実施

■大島町 (12/3水-12/5金)



[ツアー情報を見る](#)

<p>実施したワークショップ</p>	<p>『Pick and Throw-星投げびとワークショップ』 大島での体験や交流から得た「地域の良さや価値」を振り返り、アイデア創発を行う</p>
<p>主なコンテンツ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自然に囲まれたコワーキング施設「WELAGO」にて個人ワーク ・ジオパーク認定ガイドの案内のもと、三原山トレッキングにて大島の自然を五感で体験 ・伊豆大島の歴史や産業を知る島内視察 →ジオパークの拠点施設「伊豆大島ミュージアム-ジオノス-」見学 大島の一大産業である「椿」の油絞り体験、椿花ガーデン見学 ・「ゲストハウスKOIZUMI」にて地域事業者と交流会 ・ツアー最終日、コワーキング施設「WELAGO」にて、ツアー中の経験や感じたこと等を踏まえて、地域リソースと企業リソースを掛け合わせたアイデア創発のワークショップを実施

■三宅村 (1/27火-1/30金)



[ツアー情報を見る](#)

<p>交流した地域事業者など</p>	<p>谷井重夫氏 一般社団法人三宅島観光協会事務局長 大阪府豊中市生まれ。同志社大学法学部政治学科卒業後、ソニー株式会社に入社。45歳の時に三宅村主催の「第1回島ぐらし体験事業」に参加し、その後の半年間で退社と移住を決意。以来、「地球むき出しの島」三宅島と「明日葉」に魅せられ現在に至る。</p>
<p>主なコンテンツ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ネイチャーガイド案内のもと、活火山のある島での生活や環境について学びを得る「ジオスポット」巡り →メガネ岩、火山体験遊歩道、伊豆岬灯台、椎取神社、三七山展望台、新鼻新山 ・研修やコワーキングスペースとして利用できる会議室や、展望デッキのある阿古漁港船客待合所「ここぼーと」にて個人ワーク ・民宿「夕景」にて、地域の方々と交流会 ・ツアー最終日、「ここぼーと」にて三宅島観光協会職員や三宅村役場職員等を交えて、ツアーを振り返っての三宅島の魅力やワークショップの取り入れ方等に関するディスカッション